

Janis

# ValueClean 壁排水仕様 施工説明書

バリュー クリン



FP291-2 12.06

## 施工される前に

- この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 便器の使用水圧範囲は、最低必要水圧:0.05MPa(流動圧)から最高使用水圧:0.75MPa(静水圧)です。  
給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。  
温水洗浄便座は機種により、最低必要水圧が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。
- 便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は、所轄官庁の指示に従って設置してください。

## 施工された後に

- 不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。
- 本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください

- ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。  
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

## 用語および記号の説明

- 警告** …「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ …「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 🚫 …「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- ❗ …「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 警告

- 🚫 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。  
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。

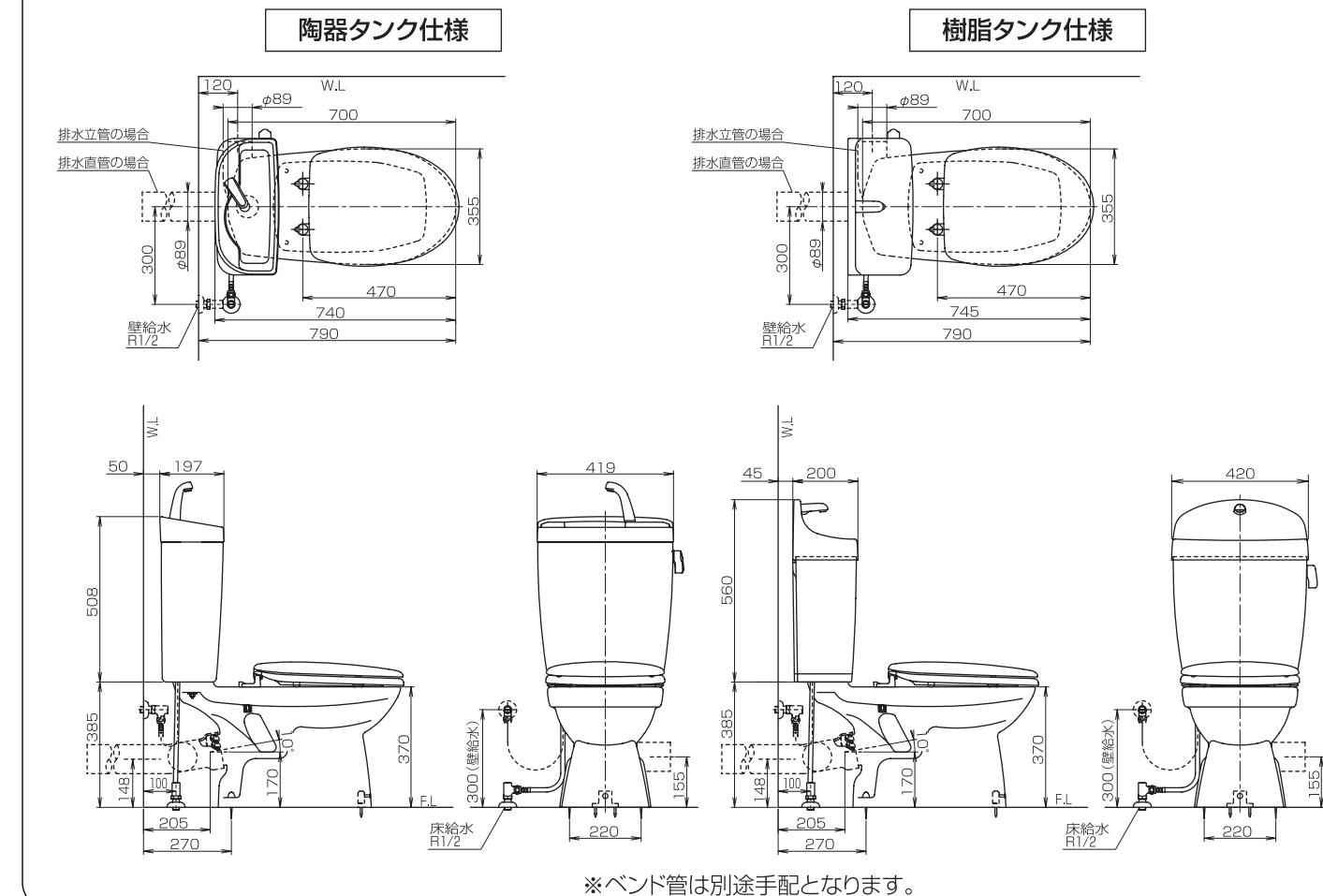
## ⚠ 注意

- 🚫 バスルーム等の水のかかる所や湿気の多い場所では、使用しないでください。  
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- 🚫 交流100V以外では使用しないでください。  
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- 🚫 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたり、重いものを載せたりしないでください。  
※コードが破損し、火災や感電を起こす恐れがあります。
- ❗ 陶器は割れものです。破損や割れがないことを確かめてください。  
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。
- ❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行ってください。  
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- ❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをしてください。  
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

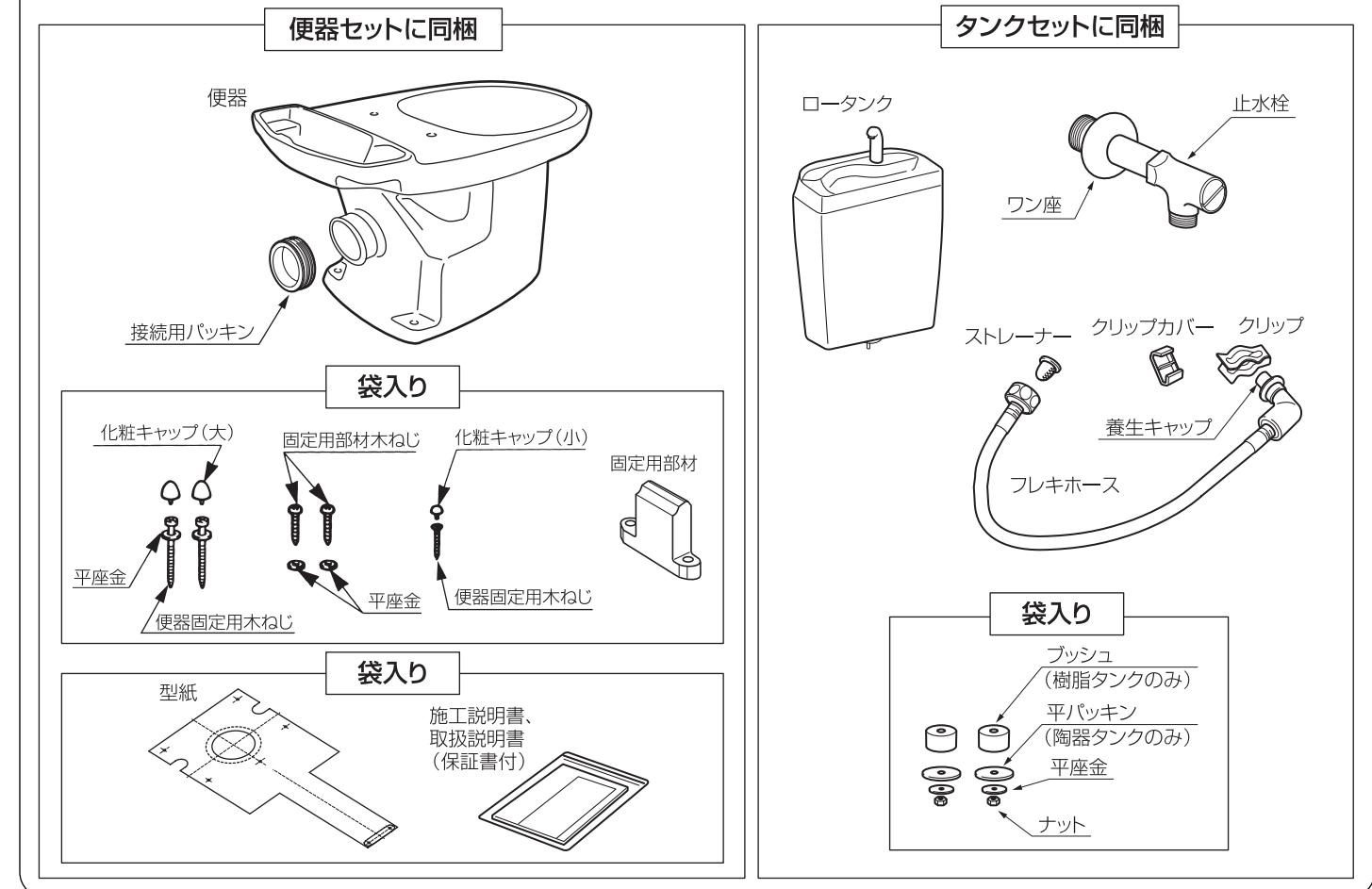
## お願い

- 清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカーラー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。  
※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)

## 施工寸法図



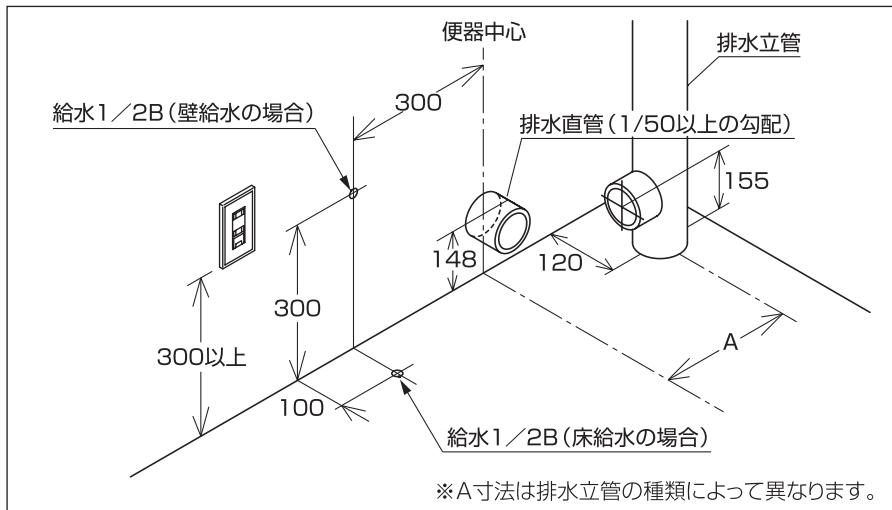
## 部品の確認 (梱包内容を確認してください)



## 施工手順

### 1 給排水の位置決めと取出し

●下図に従って給水管、排水管を取出します。



#### お願い

●便器を取付けるまで、異物が入らないよう、給水管にはプラグを、排水管には、ビニール袋等でカバーをしてください

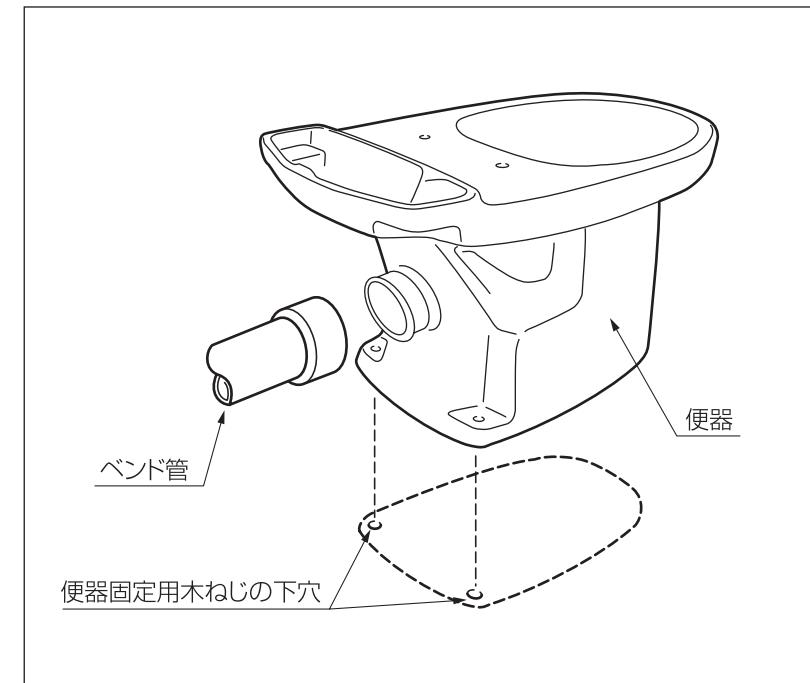
#### 注意

排水直管は逆勾配にならないようにしてください。  
※洗浄性能の低下や逆流の原因となります。

### 2 便器の仮据

- (1) ベンド管を便器に仮接続して便器の位置決めをします。この時接続用パッキンは取付けないでください。
- (2) 便器固定用木ねじの下穴をあけます  
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
- (3) 下穴をあけたら、便器とベンド管をいったんはずしてください。

注 意  
ベンド管は別途用意してください。

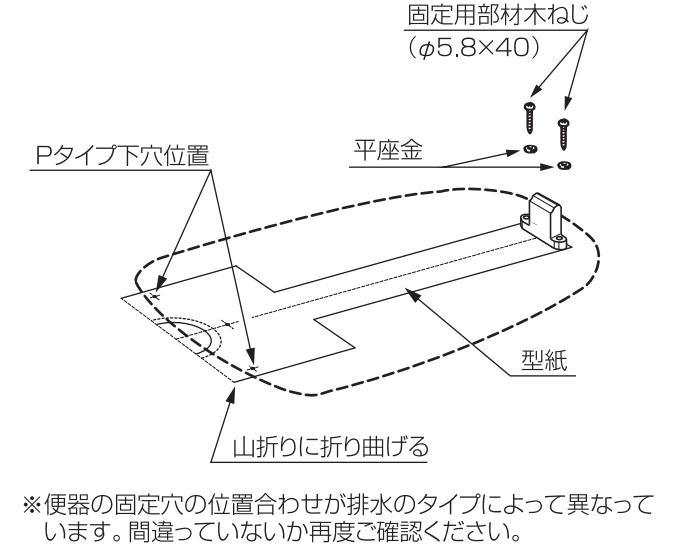


### 3 固定用部材の取付け

- (1) 型紙を排水芯の線で山折りに折り曲げて下さい。
- (2) 便器固定用木ねじの下穴に型紙を合わせ、図のように固定用部材の位置決めをします。(2)-(2)参照)  
ねじの下穴をあけておくと固定の作業がしやすくなります。
- (3) 固定用部材を木ねじで固定します。  
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

#### 注意

位置決め後、型紙を必ず取除いてください。

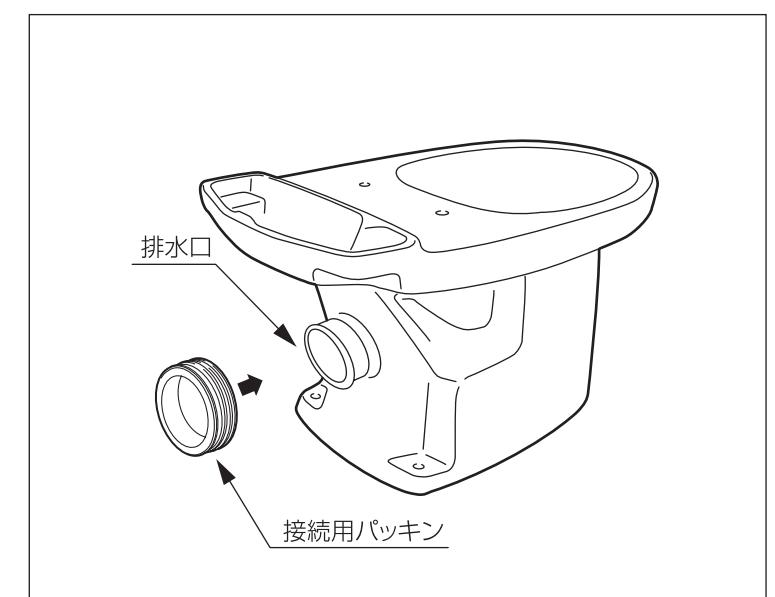
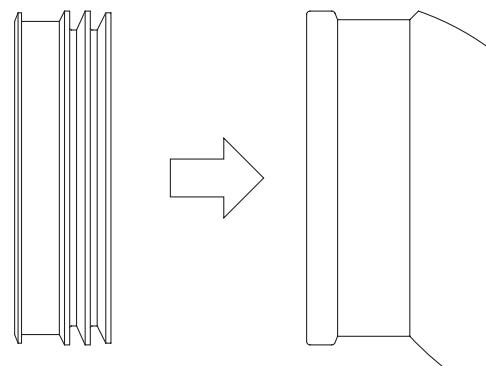


※便器の固定穴の位置合わせが排水のタイプによって異なっています。間違っていないか再度ご確認ください。

### 4 接続用パッキンの取付け・ベンド管の接続

- (1) 便器の排水口に接続用パッキンを取り付けます。
- (2) ベンド管を便器に接続します。  
※接続用パッキンの表面とベンド管の内面に石けん水を塗ると接続が容易です。

接続用パッキンの取付方向は下図の通りです。

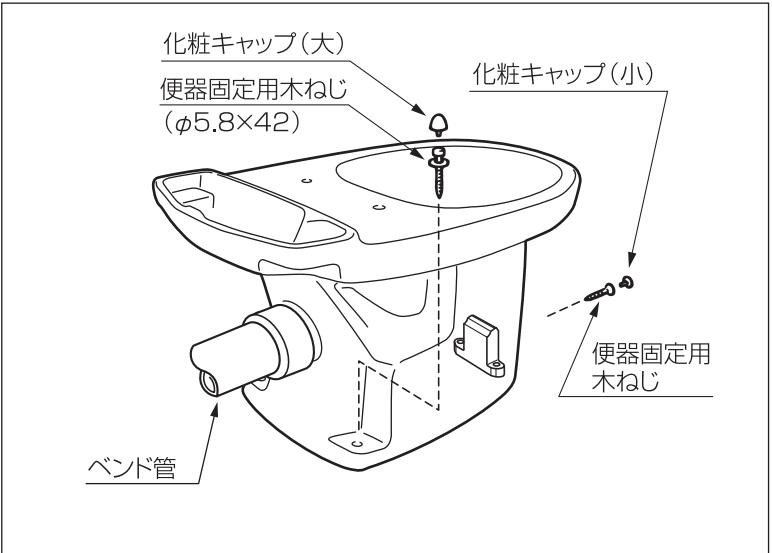


## 5 便器の取付け

便器の便器固定用木ねじにて、後方2箇所、前方1箇所(固定用部材側)の順に固定し、化粧キャップを取付けます。

### 注 意

陶器に対するねじは締めすぎない  
ようにしてください。  
※陶器が割れる恐れがあります。



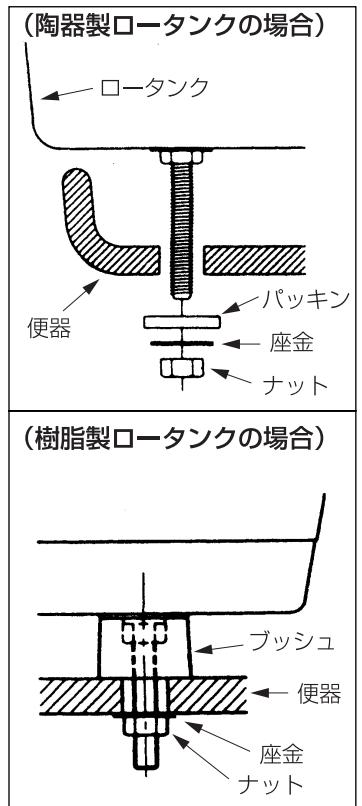
## 6 ロータンクの取付け (便器に座って作業下さい)

- (1) ディストリビュータ(黒ジャバラ)にキャップ(リング)がきちんとまっていることを確認してください。
- (2) 密結ボルト2本を便器の穴に両方一度に差込んで水平におろしてください。
- (3) 便器下方から平パッキン、平座金を介してナットで締付けます。



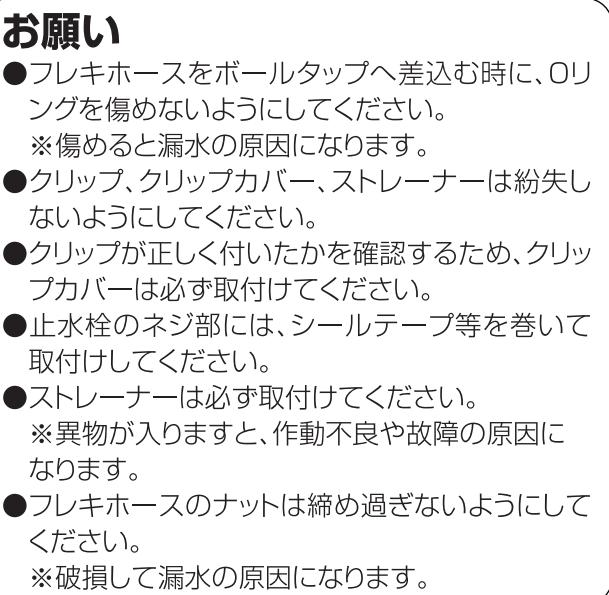
### お願い

●ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。  
※片締めは破損や漏水の原因になります。

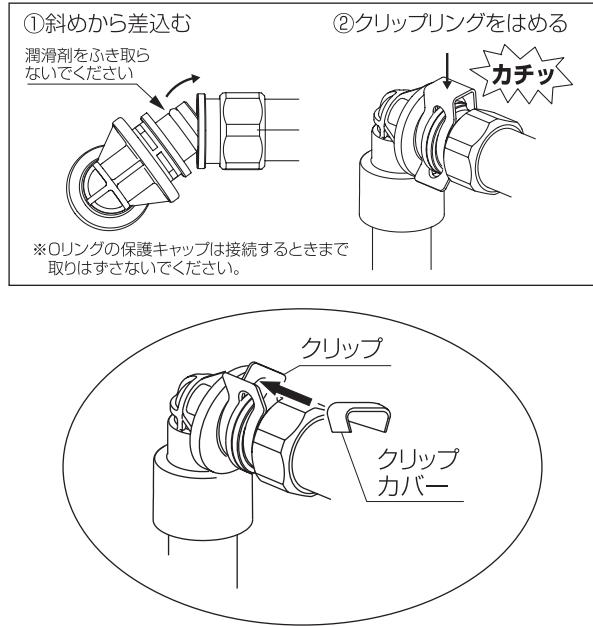


## 7 フレキホースと給水管の接続

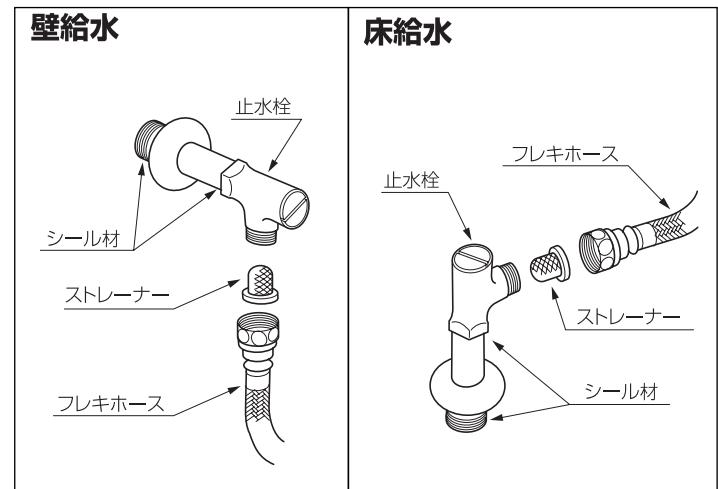
- (1) ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース(ナット側)を通します。
  - (2) ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
  - (3) 付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。
- 【ワンポイント】**  
クリップカバーの差入口が上方になるようにしておくと、クリップカバーが差込み易くなります。
- (4) クリップにクリップカバーを差込みます。
  - (5) 給水管取出し口に止水栓を取付けます。
  - (6) パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。(温水洗浄便座の場合)
  - (7) ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。



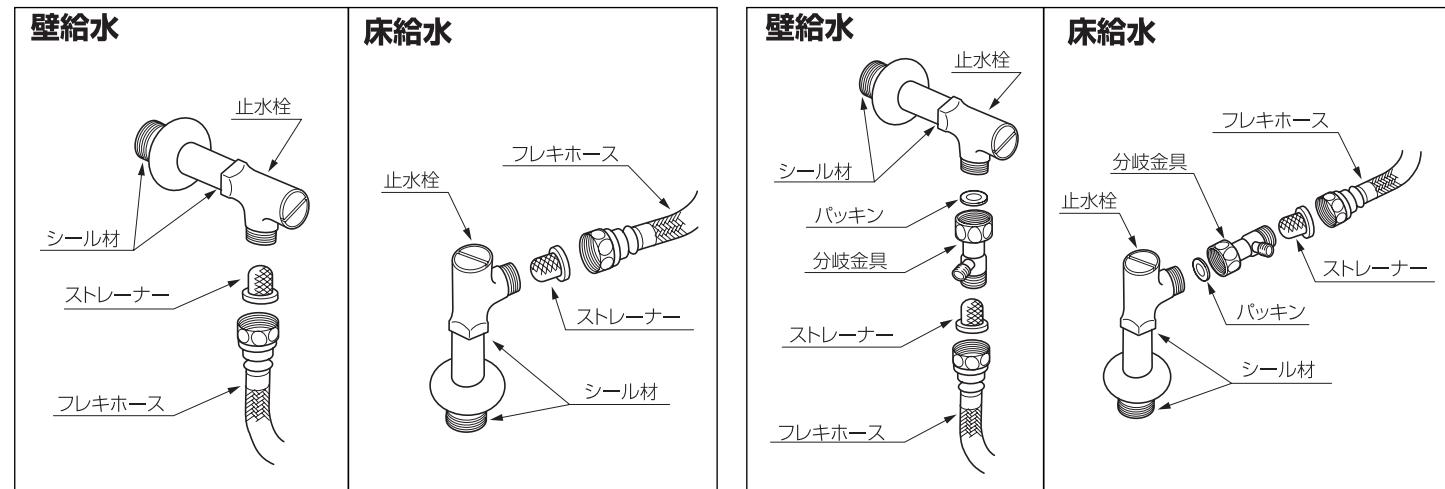
### フレキホース接続時の注意



### (普通便座・暖房便座仕様の場合)



### (温水洗浄便座仕様の場合)



## 8 調整

### 【流水量の調整】

- 万一、ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。

(1) 止水栓を閉じます。

(2) インナータンクカバーを外します。

※インナータンクカバーはコーナーを持ち上げ気味に外します。このとき、カバーの抜き窓を利用して接続ホースを通しながら着脱してください。

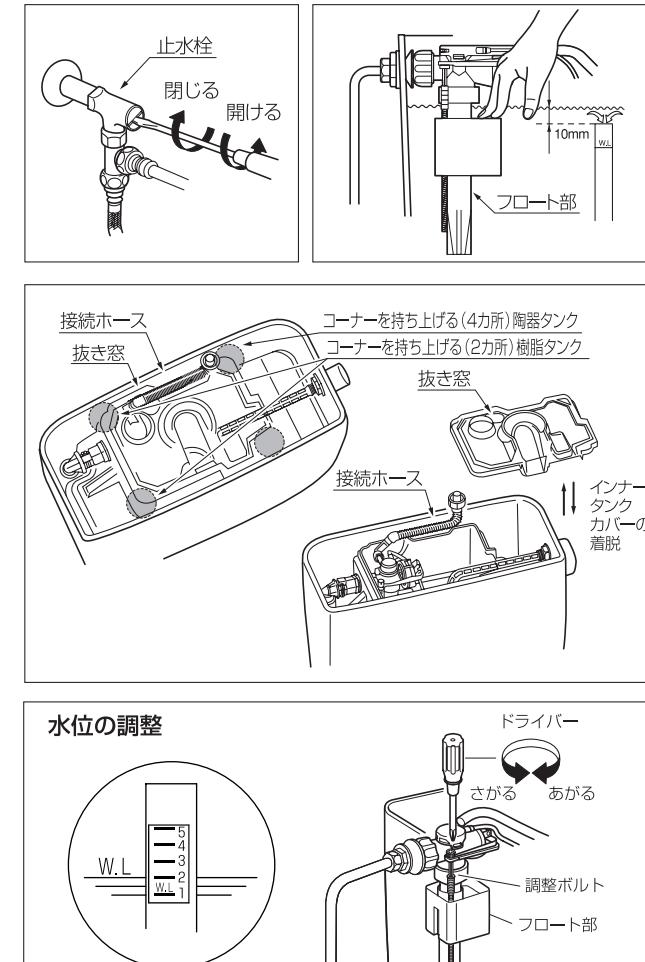
※接続ホースは外さないでください。

※手洗付の場合、接続ホースをタンク内に入れて水が飛ばないようにしておいてください。

(3) ボールタップのフロート部を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。

この状態から

(4) 水面がオーバーフロー管上端より10mm以上ならない程度に止水栓の開きを調整します。



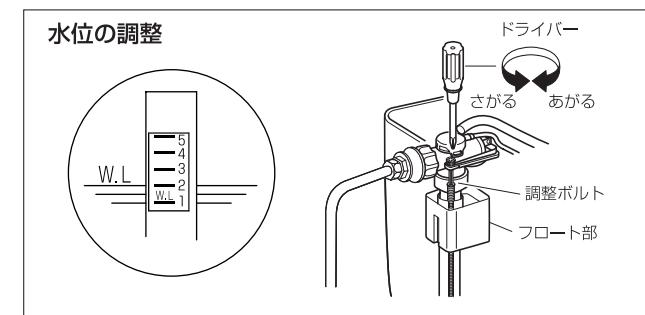
### 【水位の調整】

- 止水栓の開きを調整したあと、ロータンクに給水した時に、水位がオーバーフロー管に表示されたW.L.とずれている場合は次の要領で調整してください。

	陶器タンク	樹脂タンク
工場出荷時	表示ライン2	表示ライン1
調整範囲	表示ライン2~5	表示ライン1~4

●インナータンクカバーの外し方は⑧-(2)を参照してください。

●水位がW.L.より上の場合、調整ボルトを左に、W.L.より下の場合は、調整ボルトを右に回して調整します。



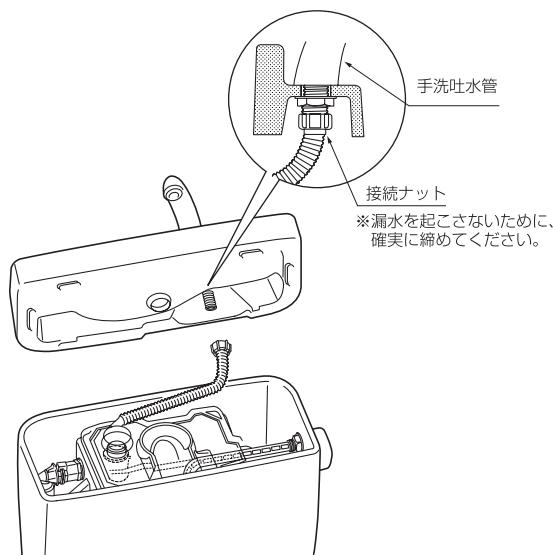
### お願い

- 接続ホースは、強く引っ張らないでください。
- 調整後は元の状態に戻してください。

## 9 タンク蓋の取付け

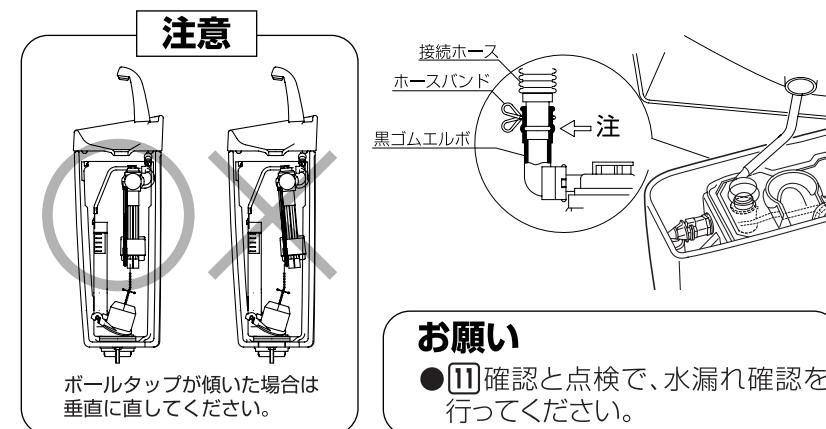
### 陶器タンクの場合

- 接続ナットを手洗吐水管に接続し、蓋をのせます。

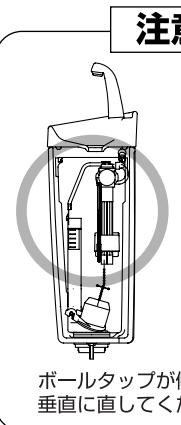


### 樹脂タンクの場合

- ボールタップと手洗接続ホースを接続します。
  - (1) 黒ゴムエルボの内溝と接続ホースの山が、かみ合うまで差し込む [下図注参照]
  - (2) 黒ゴムエルボの差し込み部分をホースバンドで止める。
- ※漏水防止のため必ずホースバンドで止めてください。



### 注意



### お願い

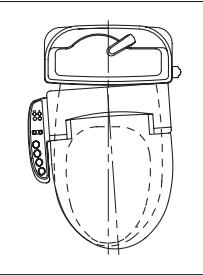
- ⑪確認と点検で、水漏れ確認を行ってください。

## 10 便座の取付け

●便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けしてください。

●便座が横にずれた状態で取付けないでください。

※温水洗浄便座の場合、着座スイッチが利きにくくなることがあります。



## 11 確認と点検

●洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各部接続に漏水が無いことを確認してください。

●フロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク金具に不具合が無いことを確認してください。

●便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗浄ですべて排出することを確認してください。

●洗浄後に封水面が低下している、または封水切れの場合には、補給水が排水器具のオーバーフロー管内に入るように止め具の向きを反対に差し直して下さい。出荷時はオーバーフロー管外(タンク内)に設定してあります。

## 12 ワンポイント

- 水の出が悪い場合ストレーナーを掃除してください。  
(7参照)

### お願い

- 止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

# ジャニス工業株式会社

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎(0569)35-3151